

各施策への方針を表明

大網白里市議会第1回定例会 市長事務方針

2月26日から3月24日まで、大網白里市議会第1回定例会が開催されました。開会日には市長から事務方針が述べられましたので、概要を掲載します。提出された議案等の詳細は市ホームページをご覧ください。

当初予算編成・財政

本市の財政見通しですが、人口の減少等に伴い、市税の増加が期待できない一方、子育て支援策の充実強化や津波避難施設の建設、大網駅周辺の都市基盤の整備など、市民生活の向上や将来の市の発展のために重要な事業を推進していく必要があります。今後の財政需要はますます増大していくことが見込まれます。

このため、平成28年度当初予算の編成にあたっては、大網白里市まち・ひと・しごと創生総合戦略や第5次総合計画を踏まえ、事業の優先度や緊急性、費用対効果等を考慮しながら、限られた財源を効率的に配分することにより、主要な行政課題には可能な限り対応できる予算案とするよう努めました。

国勢調査結果速報とまち・ひと・しごと創生の推進

平成27年10月1日を基準日として実施された国勢調査では、本市の人口は、49,191人(県結果速報による)であり、前回の国勢調査の50,113人と比べ、922人の減少となりました。正確な統計結果や分析につきましても、今後明らかになります。過去5年間の人口動向を見ますと、本市の人口減少は、ほぼ自然減少によるものです。今後、大網白里市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた各種施策を着実に実施することにより、転入者の増加による社会増や、出生数の増加による自然増につなげていきます。

子育て支援

このほか、防災訓練の実施や自主防災組織の設置促進に努めるとともに、地域防災の中核的担い手である消防団の施設・装備の改善に努め、地域防災力の充実・強化を図ります。

待機児童解消に向けた対応策として、引き続き、0歳から2歳までの児童を保育する地域型保育事業の新規参入を促進し、既存の認可外保育施設に対し、認可保育所への早期移行に向けた指導と財政支援を行います。

また、第1保育所は、白里地域における安全・安心な保育を確保するため、保育機能を第2保育所に移行します。さらに、同施設内で実施している簡易マザーズホームおよび子育て支援センターも、内陸部への移転に向け、増穂保育所隣接地に施設整備を進めます。

消防防災

津波対策は、地元地区のご理解をいただき、旧第2保育

高齢者福祉

このほか、児童手当や児童扶養手当、子ども医療費助成などの適正な給付に努めるほか、要保護児童等の早期発見、早期対応ならびに自立に至る支援も、引き続き取り組みます。

介護保険制度の改正による地域包括ケアシステムの構築は、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を目途に行うこととされており、本市でも、その準備として、介護予防事業、在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進、および生活支援サービスの体制整備を進めます。平成28年度からは、介護予防事業の一環として、高齢者の運動機能の低下を予防する「ロコモ体操」の普及推進に市を挙げて取り組みます。

また、認知症施策について「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症に対する理解と認知症患者への対応向上に努めます。

健康増進

策定作業を進めている健康増進計画ですが、食育基本法に基づき「食育推進計画」と一体的に策定する観点から、審議会等の意見を踏まえ、両計画を一体化した「健康づくり推進計画」として策定します。計画の重点施策として、生活習慣病の発症や重症化の予防、安心して妊娠・出産のできる環境づくり、ならびに乳幼児の健やかな成長と家族への支援などに取り組み、市民の健康づくりを推進します。

男女共同参画

男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画計画の策定に取り組んでいます。平成28年度は、同計画に位置付けられた各種施策の実施に向け、市民向け講演会の開催など、家庭や地域においての意識啓発に取り組みます。

産業振興

本市の基幹産業である農業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況ですが、持続可能な力強い農業を実現するため、今後とも関係機関と連携し、地域を担う認定農業者や認定就農者の確保に努めます。

また、瑞穂地区幹線道路整備事業は、早期完成を目指し、引き続き道路築造工事を推進するとともに、山辺地区の農業基盤整備事業も、国庫補助事業の採択に向けた検討を進めます。

また、平成28年度も臨時福祉給付金が支給されることから、市としても、円滑な支給に向け準備を進めます。

駅前広場の管理

駅前広場の設置管理条例が施行されることに伴い、気持ちよく駅前広場を利用していただくため、朝夕の混雑時に交通誘導員を配置し、通行車両の円滑な誘導や駅前広場の安全確保を図ります。

また、駅舎とトイレやバス・タクシー乗場とを連結する防雨施設について、位置や構造の検討を進めるとともに、ロータリーのレイアウトも、公共交通事業者等との協議を進めながら、改良に向けて検討します。このほか、駐輪場利用者の利便向上を図るため、第一駐輪場の増設を進めます。

都市整備

大網駅東地区画整理事業は、都市計画道路の早期開通を目指し、関係する地権者の皆様にご理解、ご協力をいただけるよう協議を継続するとともに、事業の進捗に向け努力します。また、事業区域内への街区公園の新設に当たっては、近隣住民をはじめ、通勤・通学の皆様の憩いの場となるよう、大網駅東地区の景観と魅力アップに配慮した整備を進めます。

学校施設整備

大網小学校の児童数増加への取り組みとして、校舎の増築を予定しているほか、大網中学校給食調理室の改築も、早期着手に向け準備を進めます。

また、施設の耐震対策として、白里中学校の屋内運動場耐震補強工事を実施し、市内小中学校すべての施設における平成28年度内の耐震対策の完了と、子どもたちが安心して学習に専念できる環境づくりを進めます。

大網病院

地域医療の状況は、医師不足・診療科の偏在など、依然として厳しい状況にあります。大網病院では、平成27年度に常勤医師2名を確保するなど、状況は改善しつつあります。

看護師の養成についても、大学等と連携した取り組みを続けてきた結果、城西国際大学の学生を第一期生として採用する予定であり、今後も継続的な採用を見込んでいます。

施設整備面では、新築移転から20年が経過し、設備の老朽化とともに各種医療機器が更新の時期を迎えていることから、資金面を考慮に入れた計画的な整備に努めます。

また、人間ドック、個別特定健診、各種がん検診などの業務をさらに拡充するとともに、東千葉メディカルセンターとの関係も、それぞれの機能に応じた医療連携を進めます。

